



明るく たくましい 明世の子

ビカリア

令和6年度
瑞浪市立明世小学校
NO. 8
R6. 10. 31

集団の中で生きる力を

今年度の運動会スローガンは「みんなで協力だ!元気!やる気!勇気!」でした。5・6年生は、スローガンを考えることから、係への立候補、係活動の分担、応援練習の進行など、話し合いや相談を重ねていきました。他の学年でも、道具の準備、競技に勝つためのコツなどを、相談したりアイデアを出し合ったりしながら取り組みました。



学校では、国語・算数といった教科の学習の他に、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事といった「特別活動」というものがあります。特別活動の学校行事の一つが運動会です。特別活動にも学習指導要領があり、目標があり、大切な学習の一つです。

運動会では、整列、入退場、という集団の一員として行動する場はもちろんですが、係として集団に働きかける場面が多くあります。自分は集団の為に、自分のどんな資質を生かし、どんな能力を発揮するか。どの係に挑戦するか、どのように取り組むか、行事に取り組む中で悩んだり相談したりしながら、力を高めているといえます。

時には、「競技に勝つために休み時間に練習したい」という仲間がいて、どのように答えるか、判断を迫られる場面があり、それも学習・成長の機会となります。自分の好きな本を読むことだって、休み時間の自分の権利です。でも、「運動会前だし、縄跳びをもっと早く、一回でも多く跳びたいから」というように、「仲間や集団を優先することが、今は大切なんだ」と判断したり、時には、「休みたい」と主張する子どもがいて話し合うことになったりする体験をして成長していきます。集団の中で、どう仲間とかかわって生活し、自分を含めて仲間とよりよい生活をするために課題を解決していく力が育っていきます。

特別活動の目標には、「集団や社会の形成者として」「集団活動に主体的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら」「集団や自己の生活上の課題を解決することを通して」「(1) 他者と協働する集団活動の意義や必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする」「(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする」と「(3) 人間関係をよりよく形成する」「考え方を深め、自己実現を図ろうとする」といった言葉があります。

運動会前に、地域の方が草取りボランティアで協働して下さったことは、9月号に書きました。地域も子どもの生活する集団の一つ。また、選挙もありましたし、地球上では紛争が起きています。子どもが特別活動を通して、様々な集団に主体的に関わり、地域も社会も世界もよりよくしていく役割を担っていくよう育てていきたいです。

